

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h3>1 一人一人の児童生徒の尊重</h3> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。</p>	<h3>2 友達への思いやり</h3> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h3>3 道徳・心の教育の充実</h3> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>【学校から】「1.一人一人の児童生徒の尊重」と「2.友達への思いやり」では、児童の「4」の割合が昨年より微増したが、保護者の「4」の割合が下がった。「4」と「3」の肯定回答でみると、児童・保護者とも昨年同様で、教職員は100%であった。豊かな心をはぐくむ教育の推進は継続されているといえる。「3.道徳・心の教育の充実」では、保護者の割合は下がり、教職員の「4」と「3」が100%であった。これは、教職員の意識は高まったものの、児童の実態に現れていないための結果であると考えられる。今後の課題の一つであり、今後は、コロナの感染状況を見ながら、保護者とも連携し、直接、保護者に伝わる取組を進めていきたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<h3>4 意欲的な学習態度</h3> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h3>5 授業力向上</h3> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h3>6 ICT活用</h3> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】「4.意欲的な学習態度」は、ほぼ昨年同様の結果であった。「5.授業力向上」では、「4」と「3」の肯定回答は、昨年同様であったが、教職員・保護者の「4」の割合が下がっている。これは、臨時休校で授業時数が減ったため、進度を優先せざるを得なかったことが影響していると思われる。また、教職員の肯定回答が100%であり、教職員の授業力向上に対する意識の高さがうかがえる。「6. ICT活用」でも、肯定回答は昨年同様であった。ただ、保護者の「4」が下がった。これは、感染症対策のため授業等を参観する機会が減ったためと思われる。一人一台タブレット導入に合わせて、教職員のICT活用の意識をさらに高めていきたい。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

<h3>7 健康づくり</h3> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>
<p>【学校から】保護者と児童は、昨年同様の結果であったが、教職員の「4」と「3」の肯定意見の割合が上がっている。日々の教育活動での「食」と「健康」に関する取組の成果が出ていると考えられる。</p>

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

<h3>8 児童生徒理解</h3> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。</p>

【学校から】「8児童生徒理解」「9いじめや問題への対応」では、保護者と児童は「4」と「3」の肯定意見の微減がみられるが、ほぼ昨年同様で、教職員は肯定意見が100%であった。教職員が、常にアンテナを上げ、児童の状況を把握し、早期対応、問題解消のために取り組んでいることが伺える。「10学校の支援体制」は、昨年同様であった。今年度は、保護者に直接伝える機会を作ることが難しかったが、「2」と「1」の意見が存在することを受け止め、児童一人一人の目に向けた取り組みを進めていきたい。また、社会情勢の変動や価値観の多様化が進む中で、広い視野をもって、少しでも児童の状況に応じた取り組みを進めていきたい。

②特別支援教育の推進

<h3>9 いじめや問題への対応</h3> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<h3>10 学校の支援体制</h3> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
--	--

①子どもたちの身近な安全対策の充実

<h3>11 安全と事故防止</h3> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>

【学校から】保護者の「4」と「3」の肯定意見は下がった。児童は昨年同様。教職員の肯定意見は上がった。日常の指導・安全点検・避難訓練などの安全教育を、教職員が意識を高めて進めていることが伺える。

②最適な学習環境の整備

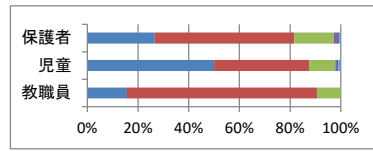
<h3>12 施設・設備の安全管理</h3> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
--

【学校から】保護者と児童は昨年同様で、教職員は「4」と「3」の肯定意見が上がっている。老朽化が進む施設等に対して、教職員が、常に整備・点検・補修を進めていることが伺える。

③家庭・地域社会との連携強化

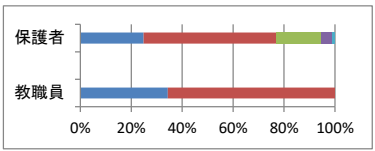
13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

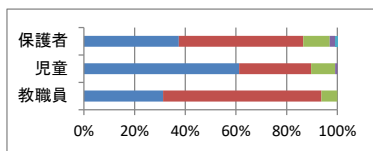


【学校から】「13」では、保護者と児童の割合は、昨年同様で、教職員の「4」と「3」の肯定意見が上がっている。「14」では、教職員の肯定意見が100%で、発信・連携を進めていこうとしていることが伺える。これまでも、保護者には、学校だより、学級通信、懇談会などの機会を利用して、伝える場を作ってきた。児童にも、集会時や教室で伝えてきている。今後も機を捉えて「清水小の教育」を伝える

④本校の教育

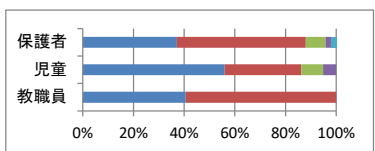
15 挨拶への取組

先生方は、あいさつの指導に力を入れていると思いますか。



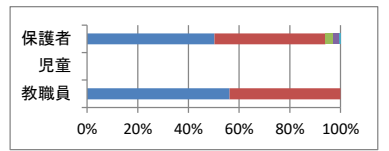
16 「いいね」があふれる取組

先生方は、互いを認め合う「いいね」があふれるような取組に力を入れていると思いますか。



17 情報提供

学校は、安心メールや学校便り・学級便りなどで情報提供に努めていますか。



【学校から】今年度は、「『いいね』で認めあい、支えあい、伸ばしあう学校」～自分で自分を幸せにできる児童の育成を目指して～を教育目標として、授業力の向上を目指す校内研修の充実・「いいね」でつくる支持的風土を持つ集団・共通実践も徹底の三つの柱を取り組んできた。「15挨拶への取組」では、教職員の肯定意見が上がっている。「16いいねがあふれる取組」では、教職員の肯定意見が100%になった。支持的風土を持つ集団を実現するために、先ずは、教職員の発信が出来ていると考える。「17情報提供」については、保護者、教職員ともに肯定意見が上がっている。今後も伝わりやすい情報の提供を進めていきたい。

来年度の具体的な取り組みについて

- 豊かな心を育み好ましい人間関係を築く力をつけるために、道徳の授業の活性化・児童が活躍する集会活動等の特別活動・児童が主体的に進める学校行事等の充実を図り、「いいね」と認め褒める場面を大切にすることで、自己肯定感や他者理解を進め、支持的風土を持つ集団づくりに取り組む。
- 確かな学力を育むために、熊本市学力検査の結果を分析するとともに、少人数指導や教科担任制・交代授業等の推進を図り、教師の専門性や授業力の向上を図る。また、ICT活用の研究を進め、児童が主体的に学ぶ支援ツールとしての効果的な活用に取り組む。既習事項の定着化のための取組及び家庭学習の習慣化をすすめる、基礎学力の定着を図っていく。
- 健やかな体を育むために、教科体育で体づくりの運動を取り入れるなどの工夫をし、外遊びの励行を進めていく。また、健康な生活習慣の確立を図るために、健康タイムの継続と、食育の推進等を図り、家庭とも連携し、健やかな体を育む教育を進めていく。
- 児童一人一人を大切にすることを進めるために、心のアンケートをはじめ教育相談期間を設定する。また、SCや専門機関との連携を図るなどして、児童が安心して相談できる環境を充実させる。さらに、自分らしさを発揮できるように、係活動など、一人一人の個性が生かせる学級づくりを進める。
- 個に応じた指導を徹底していくとともに、校内のバリアフリーや授業のバリアフリーを進めるとともに、心のバリアフリーについても人権教育部を中心に全職員で進めていく。
- 学校の教育活動を学校だよりや学級通信等を発行したり、保護者と密に情報交換したりして、保護者と協働する教育活動を進める。

学校関係者評価

- 授業参観をしてみて、今年度も学校全体が落ち着いていて、とてもよかった。学習態度も良く、ほとんどがきちんと学んでいると思った。管理も行き届いていると感じた。
- 児童の挨拶の状況も年々良くなっている。これまでの取り組みの成果だと思う。地域でも、2年前から挨拶への取り組みを進めているので、相乗効果で地域も上がっていくと思う。
- 保護者の肯定回答が、下がっているものが多いようだが、保護者の学校教育への関心度はどのようなものだろうか。年々、保護者の関心が下がってきているように思える。保護者の学校に対する信頼心が大きくなっていないのではないだろうか。
- 保護者の共働きも増え、地域とのかかわりも減り、親同士のコミュニティーを大切にしていけることが必要だと感じる。
- 多くの教室で、電子黒板が活用されており、今の教育が見られた。ICT活用の効果はあると思う。先生方も活用方法など学んでいると思うが、更に効果が上がるように活用を進めてほしい。また、人とのかかわりも大切にしていってほしい。